

2016年11月4日

会津若松スマートウェルネスシティ IoTヘルスケアプラットフォーム事業への参画

損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険株式会社（社長：高橋 薫）は、総務省「IoTサービス創出支援事業」における「会津若松スマートウェルネスシティ IoTヘルスケアプラットフォーム事業」を実施することを目的とした「会津若松IoTヘルスケアコンソーシアム（代表会社：本田屋本店有限公司）」の協力会社として、本事業に参加します。

IoTサービス創出支援事業とは、さまざまな分野の事業者が、IoTサービスの普及に当たって克服すべき具体的課題を特定したうえで、日常生活に身近な分野におけるIoTサービスのモデルを構築し、課題の解決に向けた検証を行うものです。

福島県会津若松市では、市民が健康で長く生活できる社会を実現することを目的とし、健康診断や健康管理・疾病予防等に関するデータを収集し活用する仕組みの整備、健康・医療関連データを自治体だけではなく当社のような民間企業が利用し、新たなサービスを生み出すためのルール整理についての実証を行います。

当社は、お客さまの健康増進を応援する企業として、“お客さまと保険”という関係性の垣根を越え、お客さまと一生涯のつながりを持つことを目指す健康サービスブランド「**Linkx**（リンククロス）」を展開しています。当実証事業においては、**Linkx** ブランドのアプリケーションサービスである「**Linkx siru**（リンククロス シル）」をご利用いただきます。**Linkx siru**（リンククロスシル）は、心地よく、楽しく、「わたらしい健康」を維持していただくために、最先端ICT技術を活用し、お客さま一人ひとりのニーズにマッチした健康に関する情報を毎日配信しています。

今後も健康をテクノロジーでつなぐヘルステックへの対応を進め、健康に向けた取組みを支援するサービスを提供し、お客さまの健康増進を応援することに努めてまいります。

※IoT：Internet of Things（モノのインターネット）

以上